

採れたて!!

わかごぼうのニュース

No.102

発行 2022年9月
八尾市パーソナルサポートセンター
大阪府八尾市本町 1-4-1-201
TEL:072-999-7900

褒められる事に慣れない

先月収穫して使い道に悩んでいたトマトですが、検討した結果、収穫したトマトを一度トマトソースに加工して「ミートボールのトマト煮」を作る事にしました。まず初めにトマトソース作りから。工程はトマトを細かく切って煮込み味を調えるといった簡単な手順です。

それでも今まで料理をしたことが無く、包丁を持った事が無いメンバー達は見ているこちがひやひやする中で「トマトソース作り」にかなり苦戦していました。この日はわかごぼう終了時間を少しオーバーするまでメンバー皆一生懸命作っていたので、翌週に作る「ミートボールのトマト煮」の期待値がグッと上がりましたね。

そして迎えた当日。冷凍保存していたトマトソースを解凍している間に「ミートボール」を作ります。豚ミンチ肉とスパイスを混ぜて一口サイズに丸めて、フライパンで軽く焼き目を付けて、ミートボールに火が通るまでトマトソースで煮込む。レシピを見て手順を十分に理解してから始めました。

ちよつと分量が多かったり、ちよつと？部屋に煙が充満するぐらいのハプニングがありつつ何とかスタツフが手を貸さずにメンバー達だけで料理を完成させる事ができました。

完成したら後は食べるだけ。初めて自分達だけで作った料理の感想を少しわくわくしながら待っていました。一口食べても何も喋らず「もしかして美味しくなかった？？」とスタツフも一口食べてみると「トマトが食べられないスタツフでも美味しく食べられるほど完程度が高かったです。初めて作った料理がこれだけ美味しかったのは自慢していい事なのになあ。」



何度もトライ



失敗できる場所

わかごぼうは家とは違う場所へ出かけた。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんのご経験を学べるから。

溶解、結晶、コーティング

毎年10月の暮れに開催されていた「野遊祭」わかごぼうも毎年参加する形で地域の方と交流をはかっています。ところが、新型コロナウイルスが流行し始めて3年この間全て中止となっていました。なので今年こそ無事に開催される事を願いながら出品するお菓子作りを検討しました。

今回作ったのは「アーモンドのキャラメリゼ」というお菓子で、溶かした砂糖にアーモンドを混ぜアーモンドを砂糖で固めたお菓子です。

保存も効きますし手軽につまめるお土産お菓子として売る事を目標に、一度試作してみました。初めてだった事もあり製作に時間が掛かりましたが試食してみると、作ったメンバー達の手が止まらなくなるほど美味しいお菓子ができました。



ポリッポリポリッポリッポリッポリッ

もっと練習しな
あかんなあ



☆参加対象になる方

- ◇社会参加を望みながら不安を感じている方
- ◇これからの自分を考えたい
- 家族以外の人との関わりが薄い方
- ※また、その方のご家族・親族の方も
- ご相談いただけます。
- (込み合う場合がございますのでご予約下さい。)

今を変えたいけど、どうしたらいいのかわからない。
そんなあなたに答えるための社会的居場所です。

八尾市社会的居場所
わかごぼうに
来ませんか？



開催時間：毎週木曜日 14:00-16:00

開催場所：わかごぼう

八尾市南本町7-6-23

※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ & 参加申込み

電話：072-992-6921

電話受付時間：9:00-17:00

(祝日除く月~金)

オンライン面談始めました。

詳しくはこちら➡



メロスライム並みの経験値

《前回までのあらすじ》
 キャンプ場で行われる子供たちの野外イベントのボランティアスタッフに誘われたわがごぼう。前日の打ち合わせが終わりあとは当日を待つだけだったが、不安定な天気が続く中無事イベントは開催されるのか？

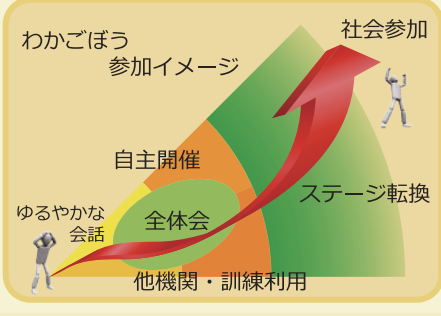
当日は曇りのち雨という微妙な天気でしたが、何とか開催は出来ることに。蒸し暑い中子ども達を迎える準備をしていると、少し緊張した様子の子供たちが親御さんに連れられて受付で荷物を預けていきます。集まった子ども達は3チーム4名に分かれて活動することになり、わがごぼうチームはアリさんチームを担当しました。チーム別に分かれ自己紹介が終わったらメイイベント「水鉄砲でオリジナルTシャツを作る」の準備をします。竹筒で水鉄砲を作り、水鉄砲と着色した水を用意。参加者は白のTシャツを着て参加するので被弾すれば

するほどオリジナル柄のTシャツが出来るという遊びです。水鉄砲を作っている中、ふとメンバーを見ると、すでに子ども達と仲良くなっています。いざ、かけあいっこが始まると、メンバーは子ども達に集中砲火されびしびしやになりながら子ども達と撃ち合っています。

そろそろ終わりの時間というタイミングで空から雷の音が、急いで施設内に撤収する事に。撤収中メンバーを見ると、手は真緑、顔は赤く、Tシャツは重ね塗りされ過ぎてもう何色かも分からない状態「随分やられたな」と一言掛けると疲れた表情ながらも笑い返していました。メンバーも楽しめたようです。初めて会ったときは全く喋ってくれなかったメンバーと、会って数十分で打ち解けることが出来る子どもも無邪気さ。もちろんわがごぼうに参加してきて積み重ねた経験もあるのでしょうが、今回のボランティアスタッフを経験してまた一歩成長したことを感じていてくれたら嬉しいですね。

八尾市社会的居場所事業 「わかごぼう」について

スモールステップを積み重ねて自己を認容し元気を回復した後、自身が望む社会参加を実現する拠点になる事業です。



砂中にあるダイヤモンド

夏の終わりをそろそろ感じたい夏の暮れ。気候の乱高下がわかごぼうメンバーを直撃し、この日の参加者は二人だけ。

予定していたイベントもこの人数では実施が出来ず、どうしようかと考えていた中でふと始まった雑談。雑談をやめて違う活動しようか、と迷いながらメンバーと話していく。

話していくうちに、この雑談は重要なものになると直感が働く。ほかの活動をすっ飛ばしこの日1日は雑談をしようと決めた。

「去年、車の免許を取ったばかりだからまだ慣れていない。スピードも安全のためにゆっくり運転してる」「それなのに、スピードを出した車が後ろからクラクションを鳴らして、無理やり追い越していく」「車間距離を空けて信号を待っていると、もっと前話めろ、と言われる」そんな話しをしたメンバー。

この話を聞いた時とてもいい題材になると思った。この話は今彼らが置かれている状況に例える事が出来る。

一般社会と言う【高速道路】
 高速道路に乗りたいたいがゆっくり進みたい【自分】
 周りに合わせる事ができてスムーズに進む【他者】
 今の社会は、自分のペースで進む彼らに「もっと早く進め」と言う。

だから、今の社会に合流するときは、自分には合わないスピードを出して高速道路に乗るか、周りから疎まれる事を覚悟して自分のペースのまま高速道路に乗るか、スピードが合わない高速道路ではなく、下道をゆっくり進むか。

という話が車の運転の話から比喩表現ではあるがたとえられるのではないだろうか。

と、メンバーにこんな話しをし終えたあと最後にこう問いかけた。「君たちは今後この方法で社会に参加していく?」

A「自分はまだ駐車場に停まったまま」
 B「まだそこまで考えられない」
 読んでいるあなたはどうか考えますか？

入道雲の先には虹の雲を目指して

日差しが燦爛と降り注ぐ夏の真只中。秋の収穫を目指して畝づくりを行いました。

八月には育てていたトマトが収穫できたので、次は秋野菜を育てる事に。今までの農園活動では活動日にメンバー全員で農園に行き生育状況の観察、水やり、雑草の処理等を行っていましたが、今回から少し方針を変えました。わかごぼうが借りている耕作地には畝が四つあり、現在わかごぼうメンバーも四人いるので今回は「一人一畝制度」を実験的に行って見たいと思います。どんな制度かと言うとシンプルにメンバー一人一人が自分の担当する畝を決め植えた作物の手入れや畝周りの雑草処理等を収穫まで行うだけ。

と、言葉にするのは簡単ですが、今のメンバーには中々難しい部分ではあります。水やりのスケジューリング、間引きのタイミングや判断。雑草処理の手間など様々な課題を適宜スタッフに相談して自分で判断する。それでも、この活動を無事に乗り越える事が出来たなら、その時のメンバーの成長具合といったらすごい事になっていくと思います。

最初はメンバーもスタッフも手探り状態なので色々な失敗はあるでしょうが、失敗の中でもメンバーの成長が見られるようなら今後も一人一畝を管理すると言ったような活動を行って行きたいですね。

これからのわかごぼう

来月は、3年ぶりの開催となるか「野遊祭の出店準備」100均のシールを使った「コラージュ作品づくり」メンバーが学んだレクリエーション「防災スリッパづくり」や秋野菜を育てる農園活動などを予定しています。もちろん、いつものボランティアやテーマトークもありますよ。

みんな似ている。ひとりにはよくない。つながる力を身に着けよう。八尾市社会的居場所わかごぼう新規参加者募集中です。